

市街化調整区域内でも、農家住宅⇒シェアハウス 空き校舎⇒サテライトオフィス等への変更可能

多摩地域の市街化調整区域では、建築物の建築（新築・改築・用途変更）が制限されています。しかしながら人口減少や高齢化に伴い、空き家の増加や集落維持面が課題となっています。そして、平成28年12月の国の開発許可制度運用指針の改正により既存建築物の用途変更が可能とする考えがしめされ、東京都の開発許可審査基準が改正されました。

その例として、今まで用途変更できなかった「属人的権利を有する者の住宅（農家住宅、分家集宅、既存権利による住宅）」をシェアハウスや二地域居住用の住宅とすること、「公益上必要な施設（小中学校、社会福祉施設）」の空き校舎をサテライトオフィスや研修施設とすること等が要件を満たせば可能となりました。改正された現在の基準概要は以下の通りです。小曾木（3丁目の一部を除く）・富岡地区は市街化調整区域です。

所有権の移転：属人的権利により建築された専用住宅を一般住宅とする

賃貸住宅への転用：属人的権利により建築された専用住宅を賃貸住宅とする

地域再生のための用途変更：地域再生の目的で既存の建築物を用途変更する

必要な要件としては、

- ・市長の同意
 - ・建築物の適法性、10年以上の適正利用
 - ・変更後の用途が観光振興、集落の維持につながる
 - ・道路、上下水道への著しい負荷なしなど
- となっています。詳細は、都市整備局ホームページをご覧ください。 <http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/>

考える会 秋の活動予定

おそき DE プチ田舎暮らし稲刈り体験 2018

10月14日（日）、6月に田植えを行った富岡乙黒耕地の田んぼにて稲刈りを行います。遠方の方も、小曾木地区の方も、富岡の田んぼで一緒に稲刈りを楽しみましょう。刈り取った稲は後日精米し、希望者に販売しています。参加希望者はメールにてご連絡ください。

平成30年度第3回 考える会

10月24日（水）19:30から小曾木市民センター会議室にて今年度第3回目の考える会を開催します。今回は昨年度から検討を進めている小曾木地区の未来の姿をわかりやすく表す「おそきの未来の青写真」の地域展開、今年度実施予定の「おそき DE 恋活プロジェクト2018」実施詳細検討などがテーマです。どなたでも参加できますので直接会場へ。

おそき DE 恋活プロジェクト2018

考える会が恋活プロジェクトを開始し2年が経過したところで、この考える会の恋活で出会い、ご結婚されたとの嬉しいお知らせも届きました。今年から青梅市では結婚を支援する事業への補助を新設していますので、今までの考える会の経験を活かして地域のみなさんの気軽に参加できる出会いの場を提供します。

◎「おそき一斉メール」に登録を！！

地域情報を2週間に1回程度、また、緊急時に地域情報を登録された方に無料でメール配信しています。 osokinogakkou@gmail.com 下記アドレスに空メールを送ると登録できます。

◎おそきだよりへの記事、行事、写真等の紹介をお願いします。



1面表題脇写真は「薪窯パン工房 木の葉 konohapan」 青梅市黒沢3丁目1574-1（吉崎商店奥）

山の麓のベーカリー「薪窯パン工房 木の葉 konohapan」。朝、薪で火を入れて窯を加熱した後、余熱でパンを焼きます。国産小麦を使い、窯で焼き上げたパンは、外側はカリッとして、中はふんわりとした香ばしい味わいです。平日は、3種類、土・休日は5種類のパンを販売しています。毎年11月末から12月末には、人気のシュトレンを販売します。

営業日時：月・火・金曜 11時～14時。土・日・祝日 11時～15時。売り切れ次第販売終了(毎週水曜・木曜 定休)。電話：0428-84-2280



編集後記

情報化社会が進み、大きなニュースはテレビや新聞から、身近なことも「エッ」と思うようなことをSNSなどに投稿すると拡散され、大きな話題になっています。どちらも一般社会の中で話題性のある一部分が切り取られニュースとなったもので、大部分の出来事はニュースにはならず、社会の全体像の本質を捉えるのはとても困難な時代とも感じます。

「おそきだより」は今回で第25号、発行は7年目に入りました。小曾木地区に関わる内容に絞り、出来事や市の動向を掲載し、第6支会のご協力で全戸配布を行い、地域への関心と現状の理解を深めていただけるよう手作りの原稿での印刷発行を続けています。

—昨年「おそき全員アンケート」では、「広報おうめ」に近いレベルで「おそきだより」を読んでいたことわかりました。今後とも情報の提供など、応援よろしく願いいたします。（若林良弘）